

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 6 年度事業報告

令和6年度事業報告 目次

令和6年度事業総括	5
I 自主事業の企画制作	
1 公演事業	6
(1) 新たに舞台芸術作品をプロデュース・上演	6
(2) 愛知発のプロデュース作品を広く届けるためのツアー	8
(3) 卓越した鑑賞公演	9
(4) ファミリー・プログラム	11
(5) その他の公演	13
2 人材養成事業	14
3 普及啓発事業	17
4 Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～	22
(1) 育成する人材及び指導者（メンター・アドバイザー）の選定	22
(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演	22
(3) クリエータープロモーション・発信力強化事業	23
(4) 海外ネットワーク強化・見本市等への参加	23
II 広報等、連携・交流	
1 広報等	24
(1) 広報	24
(2) 販売促進	24
(3) 賛助会員制度	24
(4) 調査・研究	25
2 他団体との連携・交流	25
(1) 海外芸術交流事業	25
(2) 圏域の公立文化施設とのつながり	25
(3) 職員の派遣	26
III 愛知芸術文化センターの管理・運営	
1 芸術劇場及びアールスペース	27
(1) 芸術劇場の利用状況	27
(2) アールスペースの利用状況	27
(3) 利用料金収入の状況	28
2 アートプラザ	28
3 愛知芸術文化センター全体	28
(1) 施設管理	28
(2) 防火・防災	28
(3) 芸文センターの活性化	29

Ⅳ 収益事業

1	ミュージアムショップ	30
2	プレイガイド	30

Ⅴ 法人運営

1	理事会・評議員会の開催状況	31
2	組織体制	32

Ⅵ 資料

別表1	愛知県芸術劇場の利用状況	34
別表2	アートスペース（催事室）の利用状況	38

令和6年度事業総括

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年に設立以来、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携の下、各種の文化芸術事業を実施しています。また、愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を行っています。

自主事業については、愛知県芸術劇場のあるべき姿として掲げた「日本の舞台芸術をリードする劇場」「あらゆる人々のよりどころとなる劇場」となるべく、令和6年度も当劇場プロデュースによる新作の創造発信に取り組むとともに、プロデュース作品を広く届けるため国内外のツアーを実施しました。

また、国内外のアーティストによる多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供しました。

さらに、ゴールデンウィークや夏休みに集中的に開催する「ファミリー・プログラム」を実施した他、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも取り組みました。とりわけ普及啓発においては、子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」に引き続き注力しました。

加えて、劇場に来づらい方向けの鑑賞サポートや、愛知芸術文化センターの活性化を図るための新たな取組みとして、センター内の共通スペースや美術館のロビーなどでパフォーマンスを行うプログラムも実施しました。

		事業数	公演数	来場者数/参加者数
1 公演事業	(1) 新たに舞台芸術作品をプロデュース・上演	4	16	2,771 人
	(2) 愛知発のプロデュース作品を広く届けるためのツアー	4	15	2,806 人
	(3) 卓越した鑑賞公演	9	14	11,065 人
	(4) ファミリー・プログラム	5	24	6,120 人 49 組
	(5) その他の公演	3	3	2,181 人
	計	25	72	24,943 人 49 組
2 人材養成事業		12	-	1,059 人
3 普及啓発事業		28	16	81,630 人 49 組

※各事業間で重複するものは、それぞれ計上しています。

※人材養成事業のうち、オルガニスト養成事業修了試演会は、事業数・来場者数に計上していません。

※障害者及び劇場に来づらい人のためのサポートは、種類ごとに1事業として計上しています。

芸文センターの管理運営では、引き続き、お客様・ご利用者様の目線に立ち、安心・安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上に努めました。また、芸術劇場及びアートのスペースの利用サービス向上を図るため、キャッシュレス決済に加えて、附属設備及び延長利用料金の後納制度も導入しました。

I 自主事業の企画制作

1 公演事業

当館プロデュースによる新作の創造発信に取り組むとともに、国内外のアーティストによる多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供しました。

(1) 新たに舞台芸術作品をプロデュース・上演

ダンス、演劇、音楽など、様々な領域を横断する作品を、プロデュース・上演することで、新しい芸術への興味を促進し新たな劇場ファン層を広げました。小ホールの特徴を活かして、先駆的・実験的な作品を上演する「ミニセレ」シリーズなどを実施しました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
 愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2024	11月30日(土) 12月1日(日) (4公演)	小ホール	100%	413人 (520人)
	12月7日(土)～ 9日(月) (4公演)	神奈川芸術 劇場	—	1,102人 (1,112人)
	Dance Base Yokohama (DaBY) との共同製作。愛知公演では酒井はなと岡田利規による『ジゼルのあらすじ』、島地保武による『Dance for Pleasure』、ハラサオリと小暮香帆による『ポスト・ゴースト』、鈴木竜と岡本優による『TAMA』の4つの新作を初演。神奈川ではそれらに加え2023年に発表した作品を合わせて上演しました。			
テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術 劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ ～金魚と海とわたしたち～	2月9日(日) 11日(火・祝) (3公演)	小ホール	100%	372人 (443人)
	2月14日(金) (学校招待2公演)	パティオ池 鯉鮒(知立 市文化会 館)	84%	315人 (408人)
	2月16日(日) (2公演)	四日市市文 化会館	97%	189人 (248人)
オーストラリア×日本の合同スタッフによる幼児向けパフォーマンスの新作。ストーリーは地震の影響により世界で一人になった自分を想像する子どもの視点で描く物語。タスマニアを拠点に活動する人形劇団と第七劇場主宰・演出家の鳴海康平の書き下ろし。当劇場でリサーチを行い、シドニー、メルボルン、タスマニアで初演後に当劇場ほかで上演しました。				

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド リビングルームのメタモルフォーシス	3月1日(土) (1公演)	アマノ芸術 創造センタ ー名古屋 (名古屋市 芸術創造セ ンター)	100%	302人 (418人)
	2023年に創作され、オーストリアの芸術祭“ウィーン芸術週間”で上演された現代演劇×現代音楽による音楽劇。国内外で活躍する劇団チェルフィッチュ主宰の岡田利規と現代音楽作曲家の藤倉大が手掛けた社会における「人間中心主義からの脱却」をテーマにした舞台を上演しました。ウィーン芸術週間、ヘレンハウゼン芸術祭(ドイツ)、オランダ・フェスティバル、愛知県芸術劇場の4者による共同製作です。			
第22回AAF戯曲賞受賞作『とりで』 ワークインプログレス試演会	3月15日(土)	大リハーサ ル室	-	78人 (80人)
	上演を前提としたAAF戯曲賞の受賞作品を舞台化。応募総数91作品から選出された村社祐太朗の戯曲を上演。「失言」が看過されやすい家庭と、社会のポリティカル・コレクトネスによる是正の対比をもとにした、家庭関係を描いた戯曲を上演しました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

(2) 愛知発のプロデュース作品を広く届けるためのツアー

愛知県芸術劇場発のプロデュース作品を広く届けるための再演ツアーを行いました。

事業名	開催日	会場	主催等	来場者数 (定員数)
	事業概要			
ビヨンド・バレエ ビヨンド・ヒップホップ ダブルビル 他	5月10日(金) 11日(土) (2公演)	ジャパン・ソサエティ (ニューヨーク)	ジャパン・ソサエ ティ	463人 (500人)
	5月17日(金) (1公演)	P S 2 1 (チャタム)	パフォーマンス・ スペース 21	303人 (303人)
	5月21日(火) (1公演)	NOH SPACE (サンフランシスコ)	日米カルチャー ル・トレード・ネ ットワーク	62人 (62人)
	出演ダンサーの「振付の原点」と「再構築」のテーマで、当劇場で創作され、全国ツアーでも高く評価された作品を海外にて上演しました。酒井はな(ダンス)と岡田利規(演出・振付)がバレエの古典『瀕死の白鳥』の新旧を描きました。			
余越保子／愛知県芸術劇場 リンチ(戯曲)	10月25日(金) ～27日(日) (3公演)	京都芸術センター	KYOTO EXPERIMENT	372人 (372人)
	2022年に第20回AAF戯曲賞受賞記念公演として行ったプロデュース公演の再演。振付家・演出家の余越保子が演出する演劇とダンスを越境したパフォーマンスを行いました。			
【再掲】  愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレ クション 2024	12月7日(土) ～9日(月) (4公演)	神奈川芸術劇場	愛知県芸術劇場 Dance Base Yokohama	1,102人 (1,112人)
【再掲】 テラッピン・パペット・シア ターと愛知県芸術劇場の国 際共同制作作品 ゴールドフィッシュ ～金 魚と海とわたしたち～	2月14日(金) (学校招待2公 演)	パティオ池鯉鮒(知 立市文化会館)	一般財団法人ち りゅう芸術創造 協会、愛知県芸術 劇場	315人 (408人)
	2月16日(日) (2公演)	四日市市文化会館	公益財団法人四 日市市文化まち づくり財団	189人 (248人)

(3) 卓越した鑑賞公演

3つのホールを活用し、愛知県芸術劇場ならではの卓越したダンス公演やコンサート、初級者からも楽しめる良質なオルガン公演などを実施しました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
NDT(ネザーランド・ダンス・シアター) プレミアム・ジャパン・ツアー2024	7月12日(金) 13(土) (2公演)	大ホール	99%	2,558人 (2,752人)
	オランダを拠点に60年以上にわたり世界で上演を続けるコンテンポラリーバレエカンパニーであるNDTが、約5年ぶりに来日し、著名な振付家によって創られた4作品を上演しました(日本初演作品あり)。群馬、神奈川公演も行われました。			
フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャルコンサート	8月7日(水) (1公演)	コンサートホール	96%	1,177人 (1,560人)
	国内最大級のオルガンの魅力と性能を最大限に引き出す正統派のクラシックコンサート。ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂首席オルガニストで、ヨーロッパの伝統を受け継ぐ名匠と呼ばれるフランソワ・エスピナスが、充実した演奏をお届けしました。			
 加藤訓子プロデュース STEVE REICH PROJECT DRUMMING / COUNTERPOINT	9月13日(金) 14日(土) (2公演)	小ホール	100%	380人 (624人)
	豊橋出身で世界的女性パーカッショニストの加藤訓子による作曲家スティーブ・ライヒのソロステージと、若手アーティストらがライヒの傑作「ドラミング」に挑む先駆的・実験的な2つのプログラムを実施しました。京都・神奈川・埼玉公演も行われました。			
 Footnote New Zealand Dance&山崎広太 協働ダンスプロジェクト 『薄い紙、自律のシナプス、遊牧民、トーキーョー(する)』 (一般社団法人ボディアーツラボラトリーと共催)	10月5日(土) 6日(日) (2公演)	小ホール	100%	161人 (256人)
	内外で高い評価を得ている振付家・ダンサー山崎広太と、ニュージーランドを拠点に活動するカンパニーFootnoteによるダンス公演を実施しました。			
オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(水) (2公演)	コンサートホール	100%	1,088人 (1,978人)
	入門者から初級者へのステップアップにつながる、数々の名曲とともにオルガンの魅力を1時間でお届けしました。演奏は、東海圏出身で現在はミューザ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニストである大木麻理が務めました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
サーカス・シルクール 『ニッティング・ピース』	11月26日(火) (1公演)	大ホール	100%	971人 (1,146人)
	スウェーデンに拠点を置く現代サーカスカンパニーの愛知初公演。「人々は平和を編むことができるか」という問いが織り込まれており、平和を願う白い糸とロープによる幻想的な舞台上で、綱渡りやダイナミックな空中演技を披露しました。			
クリスマスはオルガンだ！2024 ～フルート、そのあでやかな音色にのせて～	12月24日(火) 25日(水) (2公演)	コンサートホール	98%	2,287人 (2,504人)
	華やかな冬の音楽と本格的なクラシック音楽を堪能いただくコンサート。当劇場オルガニストの都築由理江が、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者 大久保成美と共演し、奏者の手元や足元を大型スクリーンに投影する演出もお楽しみいただきました。			
藤原歌劇団創立90周年記念公演 『ファルスタッフ』(ニュープロダクション) G. ヴェルディ作曲 オペラ全3幕 (字幕付き原語(イタリア語)上演)	2月8日(土) (1公演)	大ホール	98%	1,342人 (2,480人)
	日本で最も歴史のあるオペラ団体の愛知公演。今回は、記念公演として、指揮は時任康文、演出は岩田達宗と、オペラを知り尽くした二人による新演出により、シェイクスピア原作で、オペラの巨匠ヴェルディが最晩年に作曲した傑作を上演しました。			
村上佳菜子のフィギュアスケート音楽会	3月20日(木・祝) (1公演)	大ホール	-	1,101人 (1,868人)
	フィギュアスケーター達に愛された名曲の数々を迫力のオーケストラで上演。選曲のこだわりや競技生活のエピソードなど、ここでしか聞けないトークを交えた“すべらない”コンサートを実施しました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

(4) ファミリー・プログラム

ゴールデンウィークや夏休みに開催する、家族のためのフェスティバルです。

舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施しました。



事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
愛知県芸術劇場オープンハウス ①大ホール自由見学/舞台カラクリ SHOW ②小ホール自由見学 ③小ホール参加型イベント「ワレワレハ、チ キュウジンダ～宇宙でつながる！からだ かけとわたしたち～」	4月27日(土)	大ホール 小ホール	—	①1,457人(-) ②282人(-) ③27人(30人)
	劇場を一日無料開放して、舞台や客席、ビュッフェ等、日本初の本格的なオペラシアターを3年ぶりに自由に見学いただきました。小ホールでは参加型イベントも開催しました。			
THE オルガン NIGHT&DAY 2024	5月2日(木) 3日(金・祝) (3公演)	コンサート ホール	—	2,495人 (3,756人)
	「短かめのプログラム」、「出かけやすい時間」、「ワンコイン」と、“手軽さ”を追求したパイプオルガンのコンサート。愛知出身で盛岡市民文化ホールオルガニストの渋澤久美が出演し、耳馴染みのある名曲や、子どもに人気の曲を演奏しました。DAYの公演では、司会・歌を名古屋出身の加藤恵利子が務めました。			
ペック from スコットランド	7月19日(金) ～21日(日) (6公演)	小ホール	—	364人 (792人)
	7月24日(水) (2公演)	穂の国とよ はし芸術劇 場 PLAT	—	265人 (320人)
	7月26日(金) (2公演)	碧南市芸術 文化ホール	—	80人 (150人)
	7月28日(日) (1公演)	パティオ池 鯉鮒(知立市 文化会館)	—	162人 (170人)
	7月31日(水) (2公演)	名古屋市瑞 穂文化小劇 場	—	153人 (234人)

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

※定員数について、「-」とあるものは定員の設定なし。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
ペック from スコットランド	8月2日(金) (1公演)	名古屋文理 大学文化フ ォーラム(稲 沢市民会館)	—	108人 (222人)
	8月4日(日) (3公演)	蒲郡市民会 館	—	241人 (306人)
	8月7日(水) (2公演)	瀧上工業雁 宿ホール(半 田市福祉文 化会館)	—	168人 (296人)
	8月9日(金) (2公演)	知多市勤労 文化会館	—	129人 (220人)
	UK シアターアワードで「子どもと若者のためのベストシ ョー」を受賞するなど、高い評価を受けるスコットラン ドのパフォーマーによるノンバーバルの一人芝居を上演 しました。想像力豊かな遊びやオブジェがたくさん登場 するハートフルな物語をお楽しみいただきました。			
げきじょうたんけんツアー	7月25日(木) (4回)	大ホール	99%	189人 (240人)
	普段は見るできない劇場の裏側を見学できるバック クステージツアー。ジョニー隊長とジョニ子副隊長(い ずれも劇場スタッフ)と一緒に、劇場の裏側を探る体験 学習を実施しました。昨年に続き、2,480席を誇る中京 圏最大級の大ホールでの開催でした。			
赤ちゃんといっしょ (パパ編、ママ編、パパ・ママ編)	8月20日(火) 21日(水) (4回)	中リハーサ ル室	—	49組 (60組)
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流で きるダンスワークショップを実施しました。抱っこやお んぶをしながらリズムに合わせて踊ったり、ストレッチ をしたり、身体も心もリフレッシュいただきました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

(5) その他の公演

地域の芸術団体、芸術大学等と連携し、良質なコンサートなどを実施しました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
ニンフェアール 20 周年記念公演 自然をめぐる対話 (ニンフェアールと共催)	10 月 20 日 (日) (1 公演)	大リハーサ ル室	—	79 人 (100 人)
	ドイツのアンサンブル・ホリゾンテによる、ドイツ及び日本人作曲家による作品を演奏するコンサート。愛知県で活躍する演奏家との共演や愛知県の作曲家による新作を含んだプログラムを上演しました。			
スターダンサーズ・バレエ団 リラックスパフォーマンス 「白鳥の湖」(全 1 幕) & 「くるみ割り人形」 (全 1 幕) (公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団と共催)	11 月 2 日 (土) (1 公演)	大ホール	98%	980 人 (1,024 人)
	自閉症や ADHD の症状などにより劇場空間での鑑賞に不安がある方や、バレエ鑑賞が初めてのお子様が、リラックスした雰囲気の中で鑑賞できるよう、定番の演目公演をアレンジして実施しました。			
愛知県立芸術大学管弦楽団 第 35 回定期演奏会	11 月 17 日 (日) (1 公演)	コンサート ホール	96%	1,122 人 (1,648 人)
	東海地方唯一の公立芸術大学オーケストラによる定期演奏会。東京交響楽団桂冠指揮者や、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授として後進の指導も行う秋山和慶が指揮を務めました。			

※来場者満足度欄について、回答率 5 % 以下の場合は記載を省略。

2 人材養成事業

アーティスト人材の養成プログラムを継続的に行いました。また、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップから職員セミナーまで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成しました。

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
アーティスト人材養成事業	オルガニスト養成事業 集まれ、未来のオルガニスト 2024	①上半期 4月8日(月)～9月21日(土) ②下半期 10月10日(木)～3月6日(木)	コンサートホール	① 受講8人 (募集10人) ② 受講8人 (募集10人)
		将来、オルガニストを志す中学生から大学卒くらいまでの若手を対象に、劇場オルガニストによる指導を行いました。		
	アーティストと社会をつなぐ広場ラボ(実践編)	4月13日(土)、 14日(日)、20日(土)、 21日(日)	アートスペースA他	受講3人 (前年度事業受講者8名のうち希望者)
		多様化する地域社会のなかで劇場や舞台芸術は何ができるかを学ぶワークショップの受講者が、参加型イベントを考え、オープンハウスにおいて、実践しました。		
	オルガニスト養成事業 集まれ、未来のオルガニスト 2024 修了試演会	①上半期 9月25日(水) ②下半期 3月12日(水)	コンサートホール	①観客195人 (定員388人) ②観客151人 (定員388人)
舞台芸術人材養成ラボ		オルガニスト養成事業でオルガンに取り組んできた受講生の成果を披露する演奏会を開催しました。		
	アーティストと社会をつなぐ広場ラボ 2025「振り返りシンポジウム これまでとこれから」	3月22日(土)、 23日(日)	中リハーサル室、 オンライン	参加者67人 (定員無し)
		当該プログラムを実施してきた7年間の成果を振り返り、次の課題をあぶりだすためのシンポジウムを開催しました。		
	【再掲】 アーティストと社会をつなぐ広場ラボ(実践編)	4月13日(土)、 14日(日)、20日(土)、 21日(日)	アートスペースA他	受講3人 (前年度事業受講者8名のうち希望者)
	舞台芸術インターンシップ	7月～3月 (オンライン説明会 6月12日(水))	大ホール他	受講12人 (募集10人)
舞台芸術人材養成ラボ		講座形式の座学と、自主事業・公演での実習を交えながら学ぶインターンシップ。企画制作と舞台技術の2コースに分かれ各参加者が自分の興味対象に合わせて専門的な知識を身に付けられるよう工夫しました。		

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
舞台芸術人材養成ラボ	学生インターンシップ	7月23日(火) ～25日(木)	アートスペース EF 他	受講 16 人 (募集 20 人)
		東海三県(愛知県、岐阜県、三重県)に在住・在学等の高校生・大学生などを対象に劇場の業務を知る入門インターンシップを開催しました。		
	舞台芸術お仕事ガイダンス	8月10日(土)	アートスペース A	受講 33 人 (定員 180 人)
		劇場や舞台芸術に関わるさまざまな仕事について紹介するセミナーを開催しました。		
	鑑賞&レビュー講座 2024 ～ステップアップ・プログラム～	9月～3月 (キックオフ講座 9月8日(日))	各劇場、 ビデオルーム	参加者 7 人 (定員無し)
		主催公演の中から複数の作品を鑑賞してレビューを執筆、講師からフィードバック・再考・フィードバックのプロセスを繰り返す実践的なプログラムを開催しました。		
	劇場職員セミナー (名古屋市文化振興事業団と共同主催、愛知県及び名古屋市が共催)	1月15日(水) ～17日(金) (動画配信は 2月10日(月)から)	アートスペース A、 EF、他 オンライン	延べ 603 人 (定員なし) 録画配信申込者 195 人
		劇場職員の専門性の向上やスキルアップ、情報共有、交流を目的に、3日間にわたり複数のプログラムで講演やグループワーク、実習を行いました。		
	【再掲】 アーティストと社会をつなぐ広 場ラボ 2025「振り返りシンポジ ウム これまでとこれから」	3月22日(土)、 23日(日)	中リハーサル室、 オンライン	67 人 (定員無し)

事業名	開催日	会場	人数
	事業概要		
愛公文セミナー (愛知県公立文化施設協議会と共催)	6月18日(火) 7月23日(火) 8月27日(火) (3回)	アートスペース A	24 館 33 人 24 館 30 人 22 館 32 人 (募集各 30 人)
	ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催しました。		
振付家・ダンサー養成事業 ① NDT レパトリー／バレエクラスワークショップ ② 池田扶美代-Rosas レパトリークラス Re: Rosas! + α ③ Footnote NZ Dance x 山崎広太協働ダンスプロジェクト『薄い紙、自律のシナプス、遊牧民、トーキョー(する)』関連企画ワークショップ ワorkshop B セシリア・ウィルコクスによるリリーステクニック・クラス ④ 愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2024～間(あいだ)の時間～関連企画ワークショップ 【ワークショップ A】『ジゼル』バリエーションクラス ⑤ 【ワークショップ B】大人のバレエクラス ⑥ 【ワークショップ C】あの角には何がある？ ⑦ サーカス・シルク「ニッティング・ピース」公演関連企画 B. 毛糸で織りなすパフォーマンスワークショップ	①7月8日(月) 9日(火) (4回) ②7月21日(日) ～25日(木) (5回) ③10月4日(金) ④11月23日(土・祝) ⑤11月24日(日) ⑥11月24日(日) ⑦11月23日(土・祝)	①②⑤⑥⑦大リハーサル室 ③中リハーサル室 ④小ホール	①受講 66 人 (募集 75 人) ②受講 11 人 (募集 10 人) ③受講 8 人 (募集 16 人) ④受講 6 人 (募集 20 人) ⑤受講 17 人 (募集 20 人) ⑥受講 11 人 (募集 20 人) ⑦受講 8 人 (募集 16 人)
『とりで』出演者オーディション	12月14日(土) 15日(日)	アートスペース H	参加 67 人 (合格 5 人)
	第 22 回 AAF 戯曲賞大賞受賞作品『とりで』(作:村社祐太郎)の 2025 年 3 月のワークインプログレス、同年 12 月の本公演に向けて、出演者のフルオーディションを実施しました。		
AAF 戯曲賞関連プログラム 2024-2025 『戯曲／演出 集中キャンプ』 ①戯曲コース ②演出コース	①12月17日(火) ～21日(土) ②1月14日(火) ～19日(日)	アートスペース A、 オンライン	①参加 6 人 ②参加 7 人 (募集各 8 人)
	「戯曲とは何か?」「演出とは何か?」について向き合う『集中キャンプ』と、戯曲賞には何が求められているのかを戯曲賞運営者たちが語るシンポジウムを開催しました。		

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他市町村・劇場との連携で実施しました。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施しました。

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
劇場と子ども7万人プロジェクト	愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2024 絵本×朗読×パイプオルガン「終わらない夜」	11月13日(水) (2公演)	コンサート ホール	1,143人 (定員2,000人)
		カナダのトリックアート画家が手がけた絵本をもとに、当劇場が新たに制作したオルガンプログラム。絵本を映像投影しながら、本コンサートのために作曲されたオリジナルのオルガン曲を中心にお届けする1時間のコンサートに、学校単位で小学生を招待しました。		
	【再掲】 NDT(ネザーランド・ダンス・シアター) プレミアム・ジャパン・ツアー2024	7月12日(金) 13(土) (2公演)	大ホール	子ども招待者174人 (募集200人) (来場者2,558人) 全体数はP9
	【再掲】 フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャルコンサート	8月7日(水) (1公演)	コンサート ホール	子ども招待者47人 (募集50人) (来場者1,177人) 全体数はP9
	【再掲】 オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(水) (2公演)	コンサート ホール	子ども招待者28人 (募集40人) (来場者1,088人) 全体数はP9
	【再掲】 愛知県立芸術大学管弦楽団 第35回定期演奏会	11月17日(日) (1公演)	コンサート ホール	子ども招待者96人 (募集200人) (来場者1,122人) 全体数はP13
	【再掲】 サーカス・シルクール 『ニッティング・ピース』	11月26日(火) (1公演)	大ホール	子ども招待者77人 (募集100人) (来場者1,146人) 全体数はP10
	【再掲】 クリスマスはオルガンだ！2024 ～フルート、そのあでやかな音色にのせて～	12月24日(火) 25日(水) (2公演)	コンサート ホール	子ども招待者79人 (募集100人) (来場者2,287人) 全体数はP10
	【再掲】 テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ ～金魚と海とわたしたち～	2月9日(日) 11日(火・祝) (3公演)	小ホール	子ども招待者14人 (募集15人) (来場者372人) 全体数はP6

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
7万人劇場と子どもプロジェクト	【再掲】 チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド リビングルームのメタモルフォーシス	3月1日(土) (1公演)	アマノ芸術創造センター名古屋(名古屋芸術創造センター)	子ども招待者12人 (募集20人) (来場者302人) 全体数はP7
	上記の再掲公演に、小学生・中学生・高校生を個人単位で招待しました。			
ラーニングプログラム 芸術監督クロストーク ①池田扶美代×唐津絵理 ②岡田利規×唐津絵理		①7月23日(火) ②11月22日(金)	フォーラムⅡ	①観客44人 (定員40人) ②観客35人 (定員40人)
		愛知県芸術劇場の芸術監督・唐津絵理とローザス創立メンバー・ダンサー・振付家である池田扶美代、演劇作家・小説家で演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰の岡田利規とのトークイベントを行いました。		
池田扶美代-Rosas レポートリークラス ショーイング (愛知県美術館と共催)		7月25日(木)	大ホール	観客110人 (定員100人)
		愛知県美術館企画展「アブソリュート・チェアーズ 現代美術における椅子なるもの」 関連事業として実施するダンサー養成事業「池田扶美代-Rosas レポートリークラス」の受講者による発表を行いました。		
Footnote NZ Dance x 山崎広太協働ダンスプロジェクト 『薄い紙、自律のシナプス、遊牧民、トーキョー(する)』 関連企画ワークショップ ワークショップA 山崎広太による「認識と感覚」によるインプロビゼーション・クラス		10月3日(木)	大リハーサル室	16名 (20名)
		ニューヨークを拠点に活動する山崎広太氏による、「認識と感覚」をテーマに即興で身体を動かし、コミュニケーションを生み出すワークショップを開催しました。		
久屋ぐるっとアート2024		11月1日(金) ～4日(月・休)	オアシス21他	来場者 78,319人
		久屋(栄北)エリアの秋のアートフェスティバル。オアシス21や中部電力MIRAI TOWERなど約20の施設や団体が参加し、地域を盛り上げる音楽、美術、グルメのイベントを“ぐるっと”楽しみながら久屋の街の面白さを再発見いただけるイベントを開催しました。		

事業名	開催日	会場	人数
	事業概要		
OAR（ゼロ・エーアール）	11月2日(土) ～4日(月・休) (48回)	フォーラムⅡ	参加181人 (定員240人)
	現実の世界に3D CGのアートコンテンツを追加し、新感覚のアート体験ができるイベント『OAR（ゼロ・エーアール）』を久屋ぐるとアートの期間中に、愛知芸術文化センターのフォーラムⅡで開催しました。		
愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024 ～間（あいだ）の時間～ オープンスタジオ	11月20日(水) ～23日(土・祝) (8回)	小ホール	観客65人 (定員なし)
	上演演目の岡田利規×酒井はな『ジゼルのあらすじ』、島地保武『Dance for Pleasure』の新作の稽古の様子を一般公開しました。		
サーカス・シルクール「ニッティング・ピース」 公演関連企画 A. 編み物ワークショップ	11月23日(土・祝)	ビデオルーム	参加15人 (募集15人)
	『ニッティング・ピース』に小道具として登場する編み物の解説と毛糸で人形を作るワークショップを開催しました。作った人形はお持ち帰りいただきました。		
愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024 ～間（あいだ）の時間～関連企画ワークショップ 【ワークショップD】 想像力を使って パフォーマンスする方法、そのひとつの例	11月24日(日)	大リハーサル室	参加14人 (募集20人)
	想像力を用いた演出方法で革新的な作品を創り続ける岡田利規さんによるワークショップを開催しました。		
『リビングルームのメタモルフォーシス』がより 楽しめる！アンサンブル・ノマドによる実演付き レクチャー	1月11日(土)	大リハーサル室	参加28人 (募集30人)
	『リビングルームのメタモルフォーシス』に出演するアンサンブル・ノマドが、創作過程や舞台上で起きたことなど、演奏家ならではの視点で、実演付きでお話ししました。		
テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ ～金魚と海とわたしたち～ 知立アウトリーチ	2月5日(水)	知立市昭和児童センター	参加18人 (定員なし)
	テラッピン・パペット・シアターの演出家サム・ラウトレッジによるワークショップ。ビニールシートという身近な素材を使った表現ワークショップを実施しました。		

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
ダンス・スコア特別講座シンポジウム アヴァンギャルドにおける映像と身体の相互交渉		3月22日(土)	アートスペースA	参加79人 (120人)
		ダンスの動きと20世紀の映像芸術の多様な関係を研究者が貴重な映像をまじえて詳しく解説しました。		
“おとな”のげきじょうたんけんツアー		3月25日(火)	大ホール	参加88人 (90名)
		普段は見ることができない劇場の裏側を見学できるバックステージツアーを一般の方を対象に開催しました。2,480席を誇る中京圏最大級の大ホール版で実施しました。		
乳幼児と保護者のためのプログラム	【再掲】 THE オルガン DAY 2024 (幼児向け)	5月3日(金・祝) (1公演)	コンサートホール	観客833人 (定員1,414人)
	【再掲】 赤ちゃんと踊ろう (パパ編、ママ編、パパ・ママ編)	8月20日(火) 21日(水) (4回)	中リハーサル室	受講49組 (募集60組)
在住外国人のためのプログラム	多文化ダンスワークショップ 講師：古家優里、長谷川風立子(プロジェクト大山)	12月19日(木) 20日(金)	猿投台交流館 多目的ホール	参加15名 (定員なし)
		外国人学校と協力して、異なる文化や価値観を持つ人を対象にワークショップを実施しました。		
障害者のためのプログラム	テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ ～金魚と海とわたしたち～ 岐阜聾学校アウトリーチ	2月5日(水)	岐阜県立 岐阜聾学校	参加48名 (定員なし)
		テラッピン・パペット・シアターの演出家サム・ラウトレッジによる、日用品など身近なものを使った演劇表現のワークショップを開催しました。		
障害者及び劇場に来づらい人のためのサポート	【ヒアリンググループ設置】 ①THE オルガン NIGHT&DAY 2024 ②NDT プレミアム・ジャパン・ツアー2024 愛知公演	①5月2日(木) 3日(金・祝) ②7月12日(金) 13(土)	①コンサートホール ②大ホール	①利用者2人 (来場者2,495人) 全体数はP11 ②利用者1人 (来場者2,558人) 全体数はP9

事業名		開催日	会場	人数
		事業概要		
障害者及び劇場に来づらい 人のためのサポート	【タブレット字幕設置】 ①THE オルガン NIGHT&DAY 2024 ②テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ～金魚と海とわたしたち～ ③"おとな"のげきじょうたんけんツアー	①5月2日(木) 3日(金・祝) ②2月11日(火・祝) ③3月25日(火)	①コンサートホール ②小ホール ③大ホール	①利用者2人 (来場者2,495人) 全体数はP11 ②利用者5人 (来場者372人) 全体数はP6 ③利用者3人 (来場者88人) 全体数はP20
	【手話通訳の実施】 ①愛知県芸術劇場オープンハウス ②テラッピン・パペット・シアターと愛知県芸術劇場の国際共同制作作品 ゴールドフィッシュ～金魚と海とわたしたち～	①4月27日(土) ②2月11日(火・祝)	①大ホール ②小ホール	①利用者2人 (来場者1,457人) 全体数はP11 ②利用者9人 (来場者372人) 全体数はP6
	【点訳パンフレット設置】 ①THE オルガン NIGHT&DAY 2024 ②フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャルコンサート ③クリスマスはオルガンだ！2024 ～フルーツ、そのあでやかな音色にのせて～	①5月2日(木) 3日(金・祝) ②8月7日(水) ③12月24日(火) 25日(水)	コンサートホール	①利用者1人 (来場者2,495人) 全体数はP11 ②利用者3人 (来場者1,177人) 全体数はP9 ③利用者5人 (来場者2,287人) 全体数はP10

4 Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～（2024年～2026年）

（文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業））

優れたダンス作品を創造することで、舞踊家（ダンサー・振付家）を中心にダンス作品の創作に関わる人材を育成し、ダンス作品の創作や海外ツアーの土壌を整え、日本の舞踊家の作品が世界各地で上演されることを目標とします。ひいては当劇場が、日本のダンス作品のハブ劇場となり、国際的なプレゼンスの向上を目指します。

（1）育成する人材及び指導者（メンター・アドバイザー）の選定

区分		人数等	その他
育成者	ダンスアーティスト（多様な背景を持つ舞踊家）	5名 島地保武、酒井はな、三東瑠璃、Null（岡田玲奈、黒田勇）	愛知県芸術劇場ダンスアーティストと位置付けた。
	クリエイティブスタッフ（作品創造に関わるスタッフ）	8名 愛知県劇場職員を含む舞台技術者、制作者、舞踊ライター等	
アドバイザー・メンター		9名 唐津絵理（愛知県芸術劇場芸術監督、プロデューサー） 平山素子（ダンサー・振付家、筑波大学体育系准教授） 岡見さえ（舞踊評論家、共立女子大学准教授） エリザベッタ・ディマンプロ（EdMプロダクション芸術監督・エグゼクティブプロデューサー） 塩谷陽子（ジャパンソサエティ芸術監督） ほか	

（2）劇場ダンスアーティストによる創作・上演

区分	創作等	上演		
酒井はな 『ジゼルのアらすじ』 島地保武 『Dance for Pleasure』	創作りサーチ&クリエイション 9月1日～11月24日	11月30日(土)、 12月1日(日) (2公演)	小ホール	413人 (520人)
		12月7日(土) ～9日(月) (2公演)	神奈川芸術劇場	1,102人 (1,112人)
三東瑠璃	創作りサーチ	-	-	-
NULL（岡田玲奈、黒田勇）	創作りサーチ、 YPAM(横浜国際舞台芸術ミーティング) 参加	-	-	-

※酒井はな、島地保武の作品上演は、愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama「パフォーミングアーツ・セレクション2024」の1プログラムとして上演した。

(3) クリエータープロモーション・発信力強化事業

- ・劇場ダンスアーティストの資料及び創作した作品の資料アーカイブに対し、メンターからフィードバック・アドバイスをいただいた。またメンターを通じて国内外へ発信した。
- ・育成者に対して、作品創作の基礎知識となるプロデュース・マネージメント講座を実施した。

(4) 海外ネットワーク強化・見本市等への参加

<見本市・フェスティバル>

- エディンバラ・フリンジ・フェスティバル (Edinburgh Fringe、 スコットランド)
(2024 年 8 月 23 日～25 日)
- タンツメッセ (Internationale Tanzmesse NRW、 デュッセルドルフ・ドイツ)
(2024 年 8 月 27 日～31 日)

<国際ミーティング>

- AAPPAC (アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟) 総会プレゼンテーション、台湾 (2024 年 9 月 4 日～6 日)
- YPAM (横浜国際舞台芸術ミーティング) 参加
(2024 年 12 月 5 日、10 日～13 日)

<プロデューサー訪問>

- オランダ (2024 年 10 月 23 日～28 日)
- スウェーデン・ドイツ (2025 年 2 月 29 日～3 月 1 日)
- 上海 (2025 年 3 月 7 日～8 日)
- オランダ (2025 年 3 月 26 日～29 日)

Ⅱ 広報等、連携・交流

1 広報等

(1) 広報

①情報紙「AAC journal」及び情報サイト「AAC タイム」

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化活動に関する情報等を掲載した情報紙の発行及び情報サイトの運営を行っています。手に取ってもらいやすい情報紙を目指すとともに、情報サイトでは、芸術を気軽に楽しめるコンテンツの配信を行いました。

情報紙：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等に配布。

情報サイト：芸術ビギナーに向けた内容を配信し、SNS による周知・拡散を行う。

<AAC journal 発行状況>

号	発行月	発行部数	概 要
Vol. 120	R6. 6	15,000 部	アブソリュート・チェアーズ/セントラル愛知交響楽団 他
Vol. 121	R6. 9	15,000 部	相国寺展/平原綾香インタビュー 他
Vol. 122	R6. 12	15,000 部	パウル・クレー展/名古屋フィルハーモニー交響楽団 他
Vol. 123	R7. 3	15,000 部	ジャングル・ブック/どうぶつ百景 他

②マスコミ等を通じた発信

芸術劇場で行われる各種公演や自主事業について多くの人に周知するため、マスコミ等を通じて情報発信を行いました。

全 473 件（告知 116 件、記事 254 件、広告 92 件、その他 11）

③多様な情報発信

<SNS の状況>

媒 体	発信内容の対象	導入時期	アクセス数等
Facebook	芸術劇場	H26. 4	読者 4,268 人
			訪問者 4,797,569 人
X (旧 Twitter)	芸術劇場	H26. 4	読者 4,361 人
YouTube	芸術劇場	H26. 10	チャンネル登録者 748 人
			視聴回数 716,391 回
Instagram	芸文センター	R6. 5	読者 506 人

(2) 販売促進

<愛知県芸術劇場メンバーズ>

主催公演の情報などを直接お伝えするといったダイレクトメール会員の特典に加え、チケットをインターネット上で購入できる仕組みを整え、運用しています。

会員数 26,186 名

(3) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページへの掲載・パンフレット配布の他、訪問によるご案内等を通じて賛助会員数の拡大を図りました。

2025 年度賛助会員の加入状況は、44 件 50 口となっています。

2025 年度賛助会員 支援メニュー	賛助金額(円/口)	加入状況
芸術文化事業コース	10 万円	24 件 27 口
子どものための劇場プログラムコース	5 万円	13 件 14 口
その他活動支援コース	5 千円	7 件 9 口

2024 年度賛助会員 支援メニュー	賛助金額(円/口)	加入状況
芸術文化事業コース	10 万円	16 件 18 口
ファミリー・プログラムコース	5 万円	7 件 7 口
劇場と子ども7万人プロジェクトコース	5 万円	9 件 9 口

(4) 調査・研究

劇場及びアートのスペースの利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めています。

また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握分析し、自主事業の企画制作に反映させています。

2 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」(アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟)に加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及びセンターの認知度向上を図っています。令和6年度は、9月4日～6日に開催された台北大会に参加しました。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催しました。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形で劇場間の連携を深めていきます。

＜愛知県公立文化施設協議会＞

4/25(木) 役員会、総会、総会セミナー(セミナー参加者:26館38名)

6/18(火) 愛公文セミナーⅠ(参加者:24館33名)

7/23(火) 愛公文セミナーⅡ(参加者:24館30名)

8/27(火) 愛公文セミナーⅢ(参加者:22館32名)

(3) 職員の派遣

自治体や他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等の助言を実施しました。

区分	主な派遣先（出張）
助言・評価	愛知県、名古屋市、豊川市、半田市、岐阜市、宮城県、公益財団法人名古屋市文化振興事業団、公益財団法人豊田市文化振興財団、公益財団法人千葉県文化振興財団、公益財団法人鳥取県文化振興財団、全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）実行委員会
講座、研修、セミナー（講師）	愛知県、安城市、浜松市、公益社団法人全国公立文化施設協会、公益財団法人静岡県文化財団、公益財団法人福井県文化振興事業団、公益財団法人鳥取県文化振興財団、公益財団法人しまね文化振興財団、いわき芸術文化交流館アリオス、玉川大学
文化庁委託事業 ※	宮城県民会館、京都府丹後文化会館、高知県立美術館ホール

その他、委託契約により名古屋芸術大学の講座を実施

※劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援＜支援員の派遣＞（受託：公益社団法人全国公立文化施設協会）

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアートのスペース

愛知県芸術劇場各ホール及びアートのスペースの利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供しました。

(1) 芸術劇場の利用状況

芸術劇場各ホールの利用状況は、次のとおりです。

＜芸術劇場各ホールの利用状況＞

項 目	区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
利用率 (%)	大ホール	73.0	81.8	80.5	83.9
	コンサートホール	74.4	88.2	82.6	93.1
	小ホール	72.4	83.0	78.9	78.0
	3 ホール平均	73.3	84.3	80.8	85.0
入場者 数 (人)	大ホール	168,074	241,454	213,004	313,091
	コンサートホール	118,989	201,638	170,515	246,982
	小ホール	15,032	24,545	18,313	30,097
	計	302,095	467,637	401,832	590,170

※ 利用率は、利用日数÷利用可能日。

※ 令和5年度は、エレベーター改修工事のため、大ホール・コンサートホールは1月4日から、小ホールは12月1日から3月31日まで休館。

(2) アートのスペースの利用状況

アートのスペース（催事室）の利用状況は、次のとおりです。

＜アートのスペースの利用状況＞

項 目	区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
利用率 (%)	会議室利用	42.3	57.1	49.9	52.6
	展示室利用	57.7	73.1	52.2	65.0
	平均	48.0	63.1	50.8	57.1
入場者数(人)	全 体	43,112	74,243	60,286	65,708

※ 利用率は、利用日数÷利用可能日。

(3) 利用料金収入の状況

(円)

項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
3 ホール (リハーサル室含む)	174,456,310	374,017,560	290,311,410	415,112,810
アートスペース	18,319,320	19,754,720	13,167,080	15,448,190
合 計 (A)	192,775,630	393,772,280	303,478,490	430,561,000
予 算 (B)	428,770,000	436,011,000	323,735,000	389,611,000
差 額 ((A)-(B))	△235,994,370	△42,238,720	△20,256,510	40,950,000
(A) / (B)	45.0%	90.3%	93.7%	110.5%

※ 令和3年度は、施設利用料の50%減免を実施。

※ 令和5年度は、エレベーター改修工事のため、大ホール・コンサートホールは1月4日から、小ホールは12月1日から3月31日まで休館。

※ 令和6年度の利用料金収入には、後納、キャッシュレスの未収金を含む。

2 アートプラザ

美術、音楽、演劇などに関する多様な芸術文化情報を、様々な媒体を通じて県民に提供する情報発信拠点として、県民の皆様に気軽に利用していただけるような運営に努めました。

入場者数 225,063 人

3 愛知芸術文化センター全体

芸文センター全体の広報活動や、アートプラザの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行っています。

また、利用者の安全性の確保を第一に考えた防火・防災体制の強化を行うとともに、皆様に安心して利用していただける施設環境の整備に努めました。

(1) 施設管理

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、スタッフや委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行いました。センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応しました。

(2) 防火・防災

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を順守するとともに、引き続き防災プロジェクトチーム（防災 PT）による組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図りました。

<令和6年度防災 PT>

開催回数：12 回（月 1 回）

<避難経路ツアー>

開催時期：9/2（月）

参加者：芸文センター内で勤務する職員（委託業者含む）及び劇場ユーザーなど計 117 名

<消防・防災訓練>

開催時期：2/3（月）

参加者：芸文センター内で勤務する職員（委託業者、テナント含む）など計148名

<防火・防災講習>

6/20（木）防災勉強会 60名

9/4（水）消火訓練 54名

11/14（木）AED講習 21名

また、令和4年3月策定の「伏見・栄地区都市再生安全確保計画」において、芸文センターが「一時退避場所及び退避施設」として登録されていることから、発災時に速やかに開設・運用できるよう、「退避施設開設・運営マニュアル」に基づく、訓練を実施しました。

<退避施設設営訓練>

開催時期：6/11（火）

参加者：防災PTメンバー 13名

（3）芸文センターの活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や「久屋ぐるっとアート」など、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開しており、芸文センターの利用促進につなげてまいります。

事業名	実施状況
【再掲】 愛知県芸術劇場 オープンハウス ①大ホール自由見学/舞台カラクリ SHOW ②小ホール自由見学 ③小ホール参加型イベント「ワレワレハ、チキュウジンダ～宇宙でつながる！からだとかげとわたしたち～」	小ホール、大ホール 4月27日(土) ①1,457人 ②282人 ③27人（定員30人）
【再掲】 芸術監督クロストーク ①池田扶美代×唐津絵理 ②岡田利規×唐津絵理	フォーラムⅡ ①7月23日(火) 44人(定員40人) ②11月22日(金) 35人(定員40人)
【再掲】 久屋ぐるっとアート 2024	オアシス 21 他 11月1日(金)～4日(月・休) 来場者 78,319人

また、地下2階フォーラムにフォトスポットとして設置しているパイプオルガンの1/4スケールの模型には、令和6年度は44,715人の方にお立ち寄りいただきました。

Ⅳ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行いました。

1 ミュージアムショップ（10 階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせて、図録、絵はがき、オリジナルグッズ等の販売を行いました。

愛知県美術館及び芸文センターの認知度や集客を高めるため、美術館所蔵作品をモチーフにしたオリジナル商品を販売するとともに、来場者数や客層、企画展関連イベント等を踏まえた商品展開を徹底し、売上の増加を図りました。

2 プレイガイド（地下2 階）

事業団の主催事業をはじめ、近隣の劇場・ホールで行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行いました。

V 法人運営

1 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

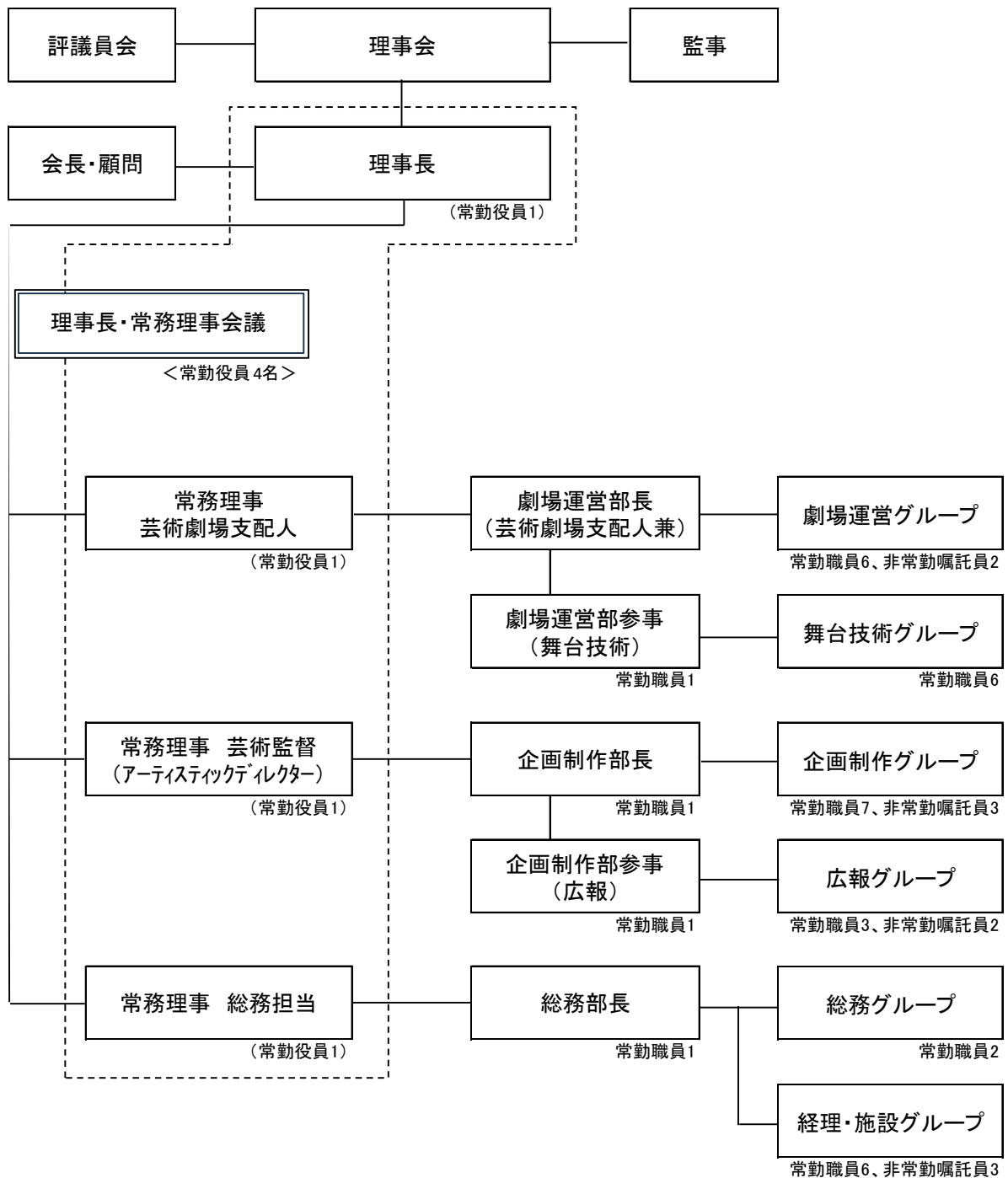
会 議 名	開 催 日	議 案
臨時理事会	5/22(水)	1 令和6年5月臨時評議員会の開催について
通常理事会	6/12(水)	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度収支決算について 3 令和6年度事業計画の変更について 4 令和6年度収支補正予算について 5 令和6年6月定時評議員会の開催について
臨時理事会	6/28(金)	1 代表理事(理事長)の選定について 2 常務理事及び事務局長の選定について
臨時理事会	7/1(月)	1 公益財団法人愛知県文化振興事業団諸規程の整備について 2 常務理事の選定について 3 常務理事の選定について 4 常務理事の選定について 5 常務理事の報酬の額について
臨時理事会	8/14(水)	1 令和6年8月臨時評議員会の開催について
臨時理事会	11/21(木)	1 令和6年度収支補正予算について (報告事項) 令和6年度職務執行状況報告
臨時理事会	12/20(金)	1 理事の報酬の額について
通常理事会	3/5(水)	1 令和7年度事業計画について 2 令和7年度収支予算について 3 令和6年度収支補正予算について

(2) 評議員会

会 議 名	開 催 日	議 案
臨時評議員会	5/22(水)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について 3 評議員の選任について 4 評議員の選任について
定時評議員会	6/28(金)	1 令和5年度収支決算について 2 公益財団法人愛知県文化振興事業団定款の一部変更について 3 理事の選任について 4 監事の選任について 5 評議員の選任について 6 公益財団法人愛知県文化振興事業団評議員、理事及び監事の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
臨時評議員会	8/14(水)	1 評議員の選任について

2 組織体制（令和6年度末）

（1）令和6年度組織体制



（2）職員数

常勤役員	4 名
職員	34 名
嘱託員	10 名
計	48 名

Ⅵ 資料

別表1 愛知県芸術劇場の利用状況

別表2 アートスペース（催事室）の利用状況

愛知県芸術劇場の利用状況

別表 1

愛知県芸術劇場

(1) 時間帯別利用状況、入場者数

ア 大ホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	5年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
令和6年 4月	29	23	79.3	1	—	—	—	—	22 (4)		23	34,607	85.7	23,677
5月	22	16	72.7	1	1	—	—	2	12 (5)		16	27,719	65.2	24,642
6月	21	19	90.5	—	—	—	1	—	18 (#)		19	21,326	82.6	23,429
7月	26	23	88.5	—	1	—	—	1	21 (2)		23	26,564	80.0	17,196
8月	24	20	83.3	—	—	1	1	1	17 (5)		20	20,364	81.5	18,401
9月	24	21	87.5	—	—	—	—	—	21 (5)		21	32,392	69.2	31,903
10月	25	18	72.0	—	—	—	1	—	17 (2)		18	32,753	88.0	26,884
11月	21	15	71.4	—	—	—	1	—	14 (1)		15	20,438	81.5	17,838
12月	23	21	91.3	—	—	1	1	—	19 (6)		21	31,244	90.9	29,034
7年 1月	22	20	90.9	—	—	—	—	—	20 (5)		20	22,269	-	0
2月	19	16	84.2	—	—	—	—	1	15 (-)		16	14,582	-	0
3月	18	18	100.0	—	—	—	—	—	18 (5)		18	28,833	-	0
計	274	230	83.9	2	2	2	5	5	214 (50)		230	313,091	80.5	213,004
構成比				0.9%	0.9%	0.9%	2.2%	2.2%	93.0%		100.0%			
5年度実績	226	182	80.5	1	0	3	3	2	173 (27)		182	213,004		

(注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。

2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。

3 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

4 以下イ～オの表においても、上記1，2，3のとおりである。

イ コンサートホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	5年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
令和6年 4月	22	20	90.9	2	1	1	2	2	14 (-)		22	16,553	90.9	15,269
5月	27	24	88.9	—	—	1	1	8	15 (2)		25	22,442	82.8	20,459
6月	23	19	82.6	—	2	1	3	4	10 (2)		20	18,796	73.9	11,328
7月	20	18	90.0	2	—	1	2	5	10 (-)		20	16,233	68.0	17,645
8月	26	25	96.2	—	—	2	4	3	18 (-)		27	23,241	73.1	14,957
9月	27	23	85.2	1	—	2	4	7	11 (-)		25	20,926	84.6	17,085
10月	26	25	96.2	3	—	2	6	5	14 (1)		30	22,319	96.0	25,988
11月	26	26	100.0	1	—	1	3	5	18 (1)		28	19,988	85.2	25,127
12月	25	25	100.0	2	—	2	2	8	15 (1)		29	27,125	88.0	21,216
7年 1月	21	21	100.0	—	—	—	3	3	15 (-)		21	19,775	100.0	1,441
2月	20	20	100.0	1	2	—	3	3	12 (-)		21	20,299	-	0
3月	25	22	88.0	—	—	1	3	2	17 (2)		23	19,285	-	0
計	288	268	93.1	12	5	14	36	55	169 (9)		291	246,982	82.6	170,515
構成比				4.1%	1.7%	4.8%	12.4%	18.9%	58.1%		100.0%			
5年度実績	230	190	82.6	6	6	14	40	23	115 (3)		204	170,515		

ウ 小ホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和6年 4月	26	18	69.2	—	—	1	2	—	16	(—)	19	2,908
5月	29	19	65.5	—	—	—	1	—	18	(—)	19	2,536
6月	24	18	75.0	—	—	—	4	—	14	(—)	18	3,368
7月	23	17	73.9	—	—	—	1	1	15	(1)	17	2,548
8月	28	24	85.7	—	—	2	2	1	20	(1)	25	3,478
9月	27	18	66.7	—	—	—	—	1	17	(—)	18	3,180
10月	27	22	81.5	—	—	—	—	2	20	(—)	22	2,795
11月	28	27	96.4	—	—	—	1	1	25	(2)	27	2,324
12月	23	20	87.0	1	—	—	2	—	17	(—)	20	2,825
7年 1月	18	11	61.1	—	—	—	—	1	10	(—)	11	987
2月	21	17	81.0	1	—	—	—	—	16	(—)	17	1,182
3月	22	20	90.9	1	—	—	3	1	15	(—)	20	1,966
計	296	231	78.0	3	0	3	16	8	203	(4)	233	30,097
構成比				1.3%	—	1.3%	6.9%	3.4%	87.1%		100.0%	
5年度実績	209	165	78.9	2	0	4	10	10	140	(1)	166	18,313

5年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
60.0	2,125
37.9	1,536
68.0	2,081
88.0	4,022
89.3	2,418
85.2	2,126
100.0	2,000
100.0	2,005
—	0
—	0
—	0
—	0
78.9	18,313

エ 大リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和6年 4月	28	13	46.4	—	—	—	6	—	7	(—)	13	420
5月	29	19	65.5	4	1	1	3	1	12	(—)	22	542
6月	24	10	41.7	3	1	—	1	2	5	(—)	12	162
7月	29	23	79.3	2	1	1	5	3	13	(—)	25	431
8月	29	20	69.0	3	—	1	4	3	11	(—)	22	160
9月	28	17	60.7	2	—	—	7	4	5	(—)	18	449
10月	28	18	64.3	3	2	6	5	2	7	(—)	25	384
11月	28	24	85.7	3	1	—	3	3	16	(—)	26	398
12月	25	19	76.0	3	—	1	2	3	12	(—)	21	369
7年 1月	26	14	53.8	1	—	—	5	1	8	(—)	15	259
2月	25	17	68.0	1	—	—	3	1	12	(—)	17	138
3月	28	24	85.7	5	2	3	3	3	14	(—)	30	463
計	327	218	66.7	30	8	13	47	26	122	(—)	246	4,175
構成比				12.2%	3.3%	5.3%	19.1%	10.6%	49.6%		100.0%	
5年度実績	246	194	78.9	17	2	11	36	24	114	(—)	204	2,202

5年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
76.9	525
55.2	205
72.0	7
96.6	165
78.6	136
89.3	147
71.4	230
92.9	457
76.0	330
—	0
—	0
—	0
78.9	2,202

オ 中リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和6年 4月	28	27	96.4	5	5	2	1	3	17	(—)	33	219
5月	29	29	100.0	3	7	—	5	2	15	(—)	32	213
6月	25	25	100.0	2	5	—	3	1	16	(—)	27	592
7月	29	29	100.0	5	5	2	1	4	19	(—)	36	459
8月	29	29	100.0	4	7	3	2	1	19	(—)	36	545
9月	28	28	100.0	1	7	3	2	2	17	(—)	32	645
10月	29	29	100.0	6	6	2	2	3	18	(—)	37	439
11月	28	28	100.0	4	7	2	3	1	17	(—)	34	95
12月	25	25	100.0	4	6	1	1	3	15	(—)	30	175
7年 1月	26	26	100.0	3	2	—	1	1	21	(—)	28	524
2月	24	24	100.0	2	7	1	—	2	15	(—)	27	300
3月	28	28	100.0	4	5	1	—	3	20	(—)	33	418
計	328	327	99.7	43	69	17	21	26	209	(—)	385	4,624
構成比				11.2%	17.9%	4.4%	5.5%	6.8%	54.3%		100.0%	
5年度実績	246	242	98.4	24	51	11	21	32	135	(—)	274	1,398

5年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
100.0	50
100.0	80
100.0	200
100.0	223
100.0	191
96.4	336
96.4	141
96.4	96
96.0	81
—	0
—	0
—	0
98.4	1,398

(2) 催物別利用状況

ア 大ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			映画	その他の 芸能	講演会	式典等	計
	クラシック		その他の 音楽	邦楽	バレエ	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュー ジカル	一般 演劇					
	オペラ	その他													
令和6年 4月	件 －	件 1	件 12	件 －	件 －	件 －	件 1	件 －	件 6	件 －	件 －	件 2	件 －	件 1	件 23
5月	－	1	8	－	－	－	－	－	4	－	－	1	2	－	16
6月	－	3	8	－	－	－	－	－	1	6	－	－	1	－	19
7月	－	－	8	－	1	5	－	－	3	－	－	4	2	－	23
8月	－	1	5	－	－	2	－	－	4	3	－	5	－	－	20
9月	－	－	5	－	2	－	－	1	1	6	－	6	－	－	21
10月	－	2	15	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	18
11月	－	－	8	－	4	3	－	－	－	－	－	－	－	－	15
12月	－	3	11	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	2	21
7年 1月	－	－	11	－	1	－	－	－	8	－	－	－	－	－	20
2月	4	7	1	2	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	16
3月	－	5	10	－	－	1	－	－	－	－	－	－	2	－	18
計	4	23	102	2	8	16	1	1	29	15	－	19	7	3	230
構成比	1.7%	10.0%	44.3%	0.9%	3.5%	7.0%	0.4%	0.4%	12.6%	6.5%	－	8.3%	3.0%	1.3%	100.0%
	57.0%				10.9%			19.6%			12.6%				100.0%

(注) 構成比は、全体に占める割合(%)を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。以下の表においても、同じである。

イ コンサートホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽											演劇	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック								軽音楽	その他の 音楽	邦楽				
	オーケ ストラ	合唱	吹奏楽	室内楽	声楽	ピアノ	オルガン	その他							
令和6年 4月	件 11	件 －	件 3	件 1	件 －	件 －	件 7	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 22
5月	13	1	－	1	2	－	7	－	1	－	－	－	－	－	25
6月	8	1	1	2	－	2	4	－	1	－	－	－	－	1	20
7月	14	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－	1	20
8月	12	1	2	1	－	1	6	1	－	－	－	－	3	－	27
9月	11	3	1	3	－	1	6	－	－	－	－	－	－	－	25
10月	13	3	2	1	1	－	10	－	－	－	－	－	－	－	30
11月	10	5	1	1	－	3	6	－	2	－	－	－	－	－	28
12月	14	3	－	2	1	1	8	－	－	－	－	－	－	－	29
7年 1月	15	－	1	1	1	－	2	－	1	－	－	－	－	－	21
2月	8	1	2	2	－	3	4	－	－	－	－	－	－	1	21
3月	14	4	1	1	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	23
計	143	22	14	16	5	11	68	1	5	0	0	0	3	3	291
構成比	49.1%	7.6%	4.8%	5.5%	1.7%	3.8%	23.4%	0.3%	1.7%	－	－	－	1.0%	1.0%	100.0%
	96.2%								1.7%			2.1%			100.0%

ウ 小ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			演 芸	映 画	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック	歌謡曲	その他の 音楽	邦楽	現代 舞踊	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュージ カル	一般 演劇					
令和6年 4月	2	2	1	—	—	3	—	—	—	9	—	—	2	—	19
5月	—	1	—	—	—	4	1	—	—	10	—	—	—	3	19
6月	3	—	1	—	—	1	—	—	—	12	1	—	—	—	18
7月	1	1	1	—	—	—	—	—	6	8	—	—	—	—	17
8月	1	—	4	—	—	3	—	—	10	4	—	—	2	1	25
9月	3	—	5	—	—	1	—	—	7	1	—	—	—	1	18
10月	1	—	1	—	4	3	—	—	—	12	—	—	1	—	22
11月	—	1	1	—	12	1	—	—	—	12	—	—	—	—	27
12月	2	2	—	—	1	—	—	—	—	11	2	—	—	2	20
7年 1月	1	—	—	—	—	3	—	—	—	5	—	2	—	—	11
2月	1	—	1	—	—	—	—	—	—	13	—	1	—	1	17
3月	3	—	1	—	—	3	1	—	—	12	—	—	—	—	20
計	18	7	16	0	17	22	2	0	23	109	3	3	5	8	233
構成比	7.7%	3.0%	6.9%	—	7.3%	9.4%	0.9%	—	9.9%	46.8%	1.3%	1.3%	2.1%	3.4%	100.0%
	17.6%				17.6%			56.7%			8.2%				100.0%

エ 大リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
令和6年 4月	1	8	2	2	13
5月	—	14	6	2	22
6月	—	10	1	1	12
7月	—	13	1	11	25
8月	2	18	1	1	22
9月	—	13	1	4	18
10月	1	17	4	3	25
11月	2	19	1	4	26
12月	5	9	5	2	21
7年 1月	—	8	1	6	15
2月	—	15	—	2	17
3月	1	23	3	3	30
計	12	167	26	41	246
構成比	4.9%	67.9%	10.6%	16.7%	100.0%

オ 中リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
令和6年 4月	2	29	2	—	33
5月	1	28	3	—	32
6月	—	23	4	—	27
7月	1	32	3	—	36
8月	3	26	5	2	36
9月	—	29	3	—	32
10月	4	29	3	1	37
11月	3	29	2	—	34
12月	4	25	1	—	30
7年 1月	—	20	4	4	28
2月	—	25	1	1	27
3月	1	24	5	3	33
計	19	319	36	11	385
構成比	4.9%	82.9%	9.4%	2.9%	100.0%

(1) 利用室別利用状況、入場者数

ア 会議室利用

利用月	A室				B室				C室				D室				E・F室				合計				入場者数 (A～E・F)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
6年 4月	25	10	40.0	10	25	7	28.0	7	25	14	56.0	15	25	18	72.0	21	25	18	72.0	20	125	67	53.6	73	1,730
5月	27	11	40.7	12	27	9	33.3	9	27	14	51.9	15	27	17	63.0	18	27	21	77.8	23	135	72	53.3	77	2,586
6月	26	12	46.2	12	26	6	23.1	7	26	18	69.2	20	26	16	61.5	21	26	17	65.4	22	130	69	53.1	82	2,544
7月	26	9	34.6	9	26	6	23.1	6	26	20	76.9	22	26	18	69.2	19	26	20	76.9	21	130	73	56.2	77	1,844
8月	27	11	40.7	11	27	6	22.2	6	27	16	59.3	16	27	16	59.3	18	27	14	51.9	16	135	63	46.7	67	2,115
9月	25	7	28.0	8	25	5	20.0	5	25	16	64.0	17	25	14	56.0	17	25	12	48.0	13	125	54	43.2	60	1,612
10月	27	10	37.0	10	27	4	14.8	4	27	18	66.7	18	27	10	37.0	13	27	18	66.7	20	135	60	44.4	65	1,911
11月	27	21	77.8	22	26	3	11.5	3	26	12	46.2	12	26	17	65.4	18	26	18	69.2	20	131	71	54.2	75	2,322
12月	23	9	39.1	9	23	7	30.4	7	23	16	69.6	18	23	17	73.9	18	23	18	78.3	22	115	67	58.3	74	1,954
7年 1月	24	12	50.0	13	24	4	16.7	4	24	18	75.0	21	24	19	79.2	26	24	14	58.3	18	120	67	55.8	82	2,274
2月	24	13	54.2	16	24	11	45.8	11	24	16	66.7	20	24	15	62.5	18	23	16	69.6	18	119	71	59.7	83	2,868
3月	19	13	68.4	15	26	6	23.1	6	26	17	65.4	19	26	15	57.7	18	26	16	61.5	18	123	67	54.5	76	2,570
計	300	138	46.0	147	306	74	24.2	75	306	195	63.7	213	306	192	62.7	225	305	202	66.2	231	1,523	801	52.6	891	26,330
構成比				10.0%				5.1%				14.5%				15.4%				15.8%				60.9%	
5年度実績	305	139	45.6	141	308	59	19.2	59	308	184	59.7	197	308	187	60.7	212	308	198	64.3	222	1,537	767	49.9	831	32,200

イ 展示室利用

利用月	G室				H室				X室				合計				入場者数 (G・H・X)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
6年 4月	25	19	76.0	19	25	15	60.0	15	25	6	24.0	6	75	40	53.3	40	3,290
5月	27	21	77.8	21	27	21	77.8	21	27	12	44.4	12	81	54	66.7	54	3,600
6月	22	22	100.0	22	22	17	77.3	17	22	10	45.5	10	66	49	74.2	49	5,140
7月	26	10	38.5	10	26	4	15.4	4	26	15	57.7	15	78	29	37.2	29	1,476
8月	27	19	70.4	19	27	19	70.4	19	27	15	55.6	15	81	53	65.4	53	2,624
9月	25	25	100.0	25	25	25	100.0	25	25	7	28.0	7	75	57	76.0	57	4,340
10月	27	27	100.0	27	27	24	88.9	24	27	6	22.2	6	81	57	70.4	57	4,870
11月	26	26	100.0	26	26	18	69.2	18	26	18	69.2	18	78	62	79.5	62	3,853
12月	23	19	82.6	19	23	17	73.9	17	23	1	4.3	1	69	37	53.6	37	2,487
7年 1月	24	17	70.8	17	24	15	62.5	15	24	15	62.5	15	72	47	65.3	47	2,667
2月	24	18	75.0	18	24	5	20.8	5	19	15	78.9	15	67	38	56.7	38	1,881
3月	16	9	56.3	9	17	15	88.2	15	26	26	100.0	26	59	50	84.7	50	3,150
計	292	232	79.5	232	293	195	66.6	195	297	146	49.2	146	882	573	65.0	573	39,378
構成比				15.8%				13.3%				10.0%				39.1%	
5年度実績	304	207	68.1	207	304	142	46.7	142	304	127	41.8	127	912	476	52.2	476	28,086

ウ 合計

利用月	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	入場者数
	日	日	%	件	人
6年 4月	200	107	53.5	113	5,020
5月	216	126	58.3	131	6,186
6月	196	118	60.2	131	7,684
7月	208	102	49.0	106	3,320
8月	216	116	53.7	120	4,739
9月	200	111	55.5	117	5,952
10月	216	117	54.2	122	6,781
11月	209	133	63.6	137	6,175
12月	184	104	56.5	111	4,441
7年 1月	192	114	59.4	129	4,941
2月	186	109	58.6	121	4,749
3月	182	117	64.3	126	5,720
計	2,405	1,374	57.1	1,464	65,708
構成比				100.0%	
5年度実績	2,449	1,243	50.8	1,307	60,286

- (注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。
2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
3 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

(2) 催物別利用状況

利用月	催物別利用件数										計
	映画会	芸術文化 講演会	芸術文化に 関する会議	展覧会	展覧会 表彰式	国際会議	教育・学術 会議	研修	その他の 講演会	その他の 会議	
6年 4月	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
5月	1	2	46	38	1	1	16	5	1	26	113
6月	1	6	32	54	1	1	16	5	1	15	131
7月	1	8	44	49	1	1	16	4	3	23	131
8月	1	6	64	21	1	1	16	1	1	13	106
9月	1	8	29	47	1	1	2	1	1	34	120
10月	1	7	39	57	1	1	2	1	1	12	117
11月	1	14	33	57	1	1	1	1	1	13	122
12月	12	5	35	60	2	1	1	1	6	17	137
7年 1月	2	6	45	31	1	1	1	5	4	18	111
2月	1	7	61	35	1	1	1	3	2	20	129
3月	1	11	44	32	1	1	2	3	2	26	121
計	16	88	511	527	9	0	22	23	24	244	1,464
構成比	1.1%	6.0%	34.9%	36.0%	0.6%	0.0%	1.5%	1.6%	1.6%	16.7%	100.0%
5年度実績	27	81	525	431	7	0	5	7	28	196	1,307

- (注) 1 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
2 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

事業報告の附属明細書

令和 6 年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。